

## 実施による工夫・得られる効果一覧と結果

工夫 1 来賓への案内状を発送する前に、住所変更がないかを確認します。また、各行政・メディア関係の代表者が変わっていることがあるため、代表者の変更がないか確認し、確認できない場合は「代表者」とします。

効果 1 間違えた際、失礼に当たるため、未然に防ぐことができます。

結果 1 来賓名簿について、直接、各機関に代表者名を確認し、間違いがないようにした。

工夫 2 1 委員会のみでの運営は、この規模では難しいため、各委員会に協力を依頼します。

効果 2 協力し運営を行うことで、会員の帰属意識を高めることができます。

結果 2 今年はサポート委員会を設置していただいている、さらに各委員会に依頼をし、それぞれ設営から撤収作業まで手伝っていただいたので、最短で完了したのと連帯感をもって取り組めたと考えられる。

工夫 3 理事長所信を傾聴する前に、渉外委員会より映像を放映します。

効果 3 理事長の登壇前に流す事により、雰囲気を切り替え、これまでの歴史を踏まえたうえで所信表明に集中していただきます。

結果 3 暗転し放映したのと、映像内容もこれまでの歴史から今変わろうとしている姿を軸に構成したので、理事長所信の内容が浸透しやすい状況を作れた。

工夫 4 メディア関係者には取材依頼書を送り、さらに電話や訪問等をいたします。

効果 4 代表者にも確認していただきやすくなります。

結果 4 取材リストを基に依頼書を発送し、3社に取材いただきました。

工夫 5 執行部と各委員会への依頼事項を早期に周知いたします。

効果 5 早期に周知することで、各委員会が担当事項に従事し、円滑に事業を進行できます。

結果 5 サポート委員会として、70周年記念委員会に開会中のサポート内容を予め打合せをしており、執行部、他委員会にも総会終了後動きの確認を行ったので、円滑に閉会することができたと考えられる。